

5 系列科目の紹介

I 教養系列

科 目	科 目 の 学 習 内 容
1 現代文探究	問題演習を通して、読解力を身につけ、受験に対応できる基礎力を養う。
2 国語表現	小論文作成の土台となる読解力を身につけるために様々なジャンルを題材にした問題演習を行う。
3 国語探究	様々な文章の読解を通して、受験に必要な基礎力、更に応用力の育成を目指す。
4 歴史探究	地域史への視点を取り入れながら、様々な歴史資料を活用した学習を通して、歴史的な見方や考え方を養成する。
5 日本史B	我が国の歴史について理解を深めつつ、国際社会における日本人として必要な教養と資質を多角的な視点から学び合う。
6 政治経済	政治分野では、戦後の世界の政治の様子や現代の日本の役割などについて学ぶ。 経済分野では、戦後日本の経済発展や現在の様子(消費者問題・公害・労働問題など)について学ぶ。
7 時事問題探究	新聞記事や各種資料から、現代社会における様々な問題について探究し、社会を多角的に見る目を養う。昨年度は「統一地方選挙」「集团的自衛権」「中国」「エネルギー問題」などを取り上げた。また、秋にはグループごとにテーマを設定して探求し、発表を行った。
8 数学Ⅱ	「数学Ⅰ」の内容を発展、拡充させることができるようにするとともに、「数学Ⅲ」への学習の系統性を踏まえる。「いろいろな式」、「図形と方程式」、「指数関数・対数関数」、「三角関数」、「微分・積分の考え」を学習する。微分積分については初歩的な内容を学習する。
9 数学Ⅲ	数学に強い興味や関心をもって更に深く学習しようとする生徒や、将来、数学が必要な専門分野に進もうとする生徒が履修する科目である。数学Ⅱから更に発展した「微分積分」や「関数と極限」「複素数平面」などの論理的内容を理解する。
10 数学A	数学Aでは具体的な事象の考察を通して、数学のよさを認識し、論理的に推論を進めるための学習に役立つ内容を取り上げる「場合の数と確率」、「整数の性質」、「平面図形」について学ぶ。
11 数学B	理系大学進学に必要な分野を学ぶ。数学の活用面において基礎的な役割を果たすと考えられる「確率分布と統計的な推測」、「数列」、「ベクトル」など工業系専門分野の論理的内容を理解する。
12 物理基礎	運動の表し方、仕事と力学的エネルギーなどについて扱い、基本法則をもとに、結果を導き出す方法を学ぶ。
13 物理	「物理基礎」の内容を発展、拡充させ、「剛体」、「運動量の保存」などについて学ぶ。
14 化学基礎	物質の構成、物質の種類と性質、物質の変化について学び、生活の中でどのように化学がいかされているかについて学ぶ。
15 化学	物質について化学的な視点と考え方を養い、日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化について関心を高める。化学の基本的な概念や原理・法則を理解させ科学的な考え方を養う。
16 生物基礎	生物や生命についてその共通性を学び、身の回りの動植物、自然の現象について理解し、ヒトも環境の一部であることを自覚する。
17 生物	生物や生物現象をさらに広範囲に取り扱い、生物の基本的な原理・法則の理解を深め、科学的なものの見方を養う。
18 英語表現Ⅰ	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。
19 英語表現Ⅱ	既習文法を復習すると共に、場面や目的に応じて英語で表現する能力を伸ばす。
20 コミュニケーション英語Ⅲ	様々なジャンルの英文を読むことにより、読解力と作者の意図を理解する能力を養う。さらに、読んだ内容を元に英語で意見を発表したり、意見を交換することによって、コミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

II 福祉健康系列

科 目	科 目 の 学 習 内 容
1 ファッション造形基礎	ハーフパンツなどの製作を行い、被服製作に関する知識と技術を習得する。
2 フードデザイン	栄養・食品・献立・調理・テーブルコーディネートなどに関する知識と技術を習得する。
3 家庭総合実践	家族・家庭および衣食住、消費生活に関する知識や技術を習得し、福祉に関する基礎的な知識を学習する。
4 社会福祉基礎	社会福祉の意義・歴史・現状と課題など社会福祉に関する基礎的な知識を学習する。
5 こころとからだの理解	自立生活を支援するために必要なこころとからだの基礎的な知識を学習する。
6 介護福祉基礎	介護を必要とする人の自立支援など、介護の意義と役割について学習する。
7 生活支援技術	食事や衣服の着脱などの介護方法について学び、演習を通して介護技術を向上させる。
8 コミュニケーション技術	介護福祉援助に必要なコミュニケーションについて学習する。
9 福祉住環境デザイン	福祉住環境コーディネーター資格の取得に向け、高齢者や障害者が安全・快適に生活するための住居の環境作りについて学習する。
10 ボランティア活動入門	ボランティアの定義・意義・内容などを学び、さらに、実際に様々な場でのボランティア活動を通して学習を深めていく。
11 手話入門	基礎的な手話の学習を通じ、聴覚障害者とのコミュニケーション方法や聴覚障害者の現状について学ぶ。
12 福祉総合実践	福祉で学んだコミュニケーションや学校家庭クラブ活動の手法 Plan Do See を生かし、地域との交流を実践する。また、それらの学習内容をプレゼンテーションする基礎的手法を習得する。
13 リビングデザイン	住居の成立や変遷、住居の設計やインテリアなど、快適な住空間づくりについて学習する。
14 課題研究	福祉分野・食物分野・被服分野に分かれて、課題解決を図る学習を通して、専門的な知識と技術を習得する。

Ⅲ 総合ビジネス系列(会計ビジネス系)

科 目	科 目 の 学 習 内 容
1 簿記	複式簿記の構造について理解させ、企業において日常発生する取引について適正な会計処理の方法を学ぶ。
2 ビジネス基礎	ビジネスに関する基礎的な知識と技術を学び、卒業後の進路について意識を深める。
3 原価計算	製造業における原価計算及び会計処理に関する知識と技術を習得する。
4 ビジネス情報	ExcelのVBAとマクロや用いて、Excelを使った業務の自動化する基礎的な知識や技法や、データベースソフトの基本的な操作や活用方法について学ぶ。
5 財務会計Ⅰ	財務諸表の作成に関する知識と技術を習得し、財務会計の意義や制度について学ぶ。
6 マーケティング	ビジネスにおいて欠かすことのできない顧客ニーズの把握に向け、市場調査や販売計画、さらには販売促進における広告活動などについて学ぶ。
7 ビジネス経済	ビジネスに必要な経済に関する基礎的な知識を習得し、経済の仕組みや概念について学ぶ。
8 財務会計Ⅱ	会計責任を果たすことの重要性について理解する。また、会計情報を提供し、活用する能力を身に付ける。
9 管理会計	管理会計に関する知識と技術を習得し、経営戦略の重要性を学ぶ。
10 課題研究	専門的な知識と技術の深化に取り組み、問題解決能力や創造性などを身に付ける。
11 商品開発	商品開発に関する知識と技術を習得し、商品の企画・開発を行う。
12 総合実践	いろいろな科目で学習してきた商業活動に必要な知識と技術を、一連の業務の中で体験的・一体的に学習する。また実務におけるコンピュータを利用した会計処理についても学ぶ。

Ⅲ 総合ビジネス系列(流通ビジネス系)

科 目	科 目 の 学 習 内 容
1 簿記	複式簿記の構造について理解させ、企業において日常発生する取引について適正な会計処理の方法を学ぶ。
2 ビジネス基礎	ビジネスに関する基礎的な知識と技術を学び、卒業後の進路について意識を深める。
3 原価計算	製造業における原価計算及び会計処理に関する知識と技術を習得する。
4 ビジネス情報	ExcelのVBAとマクロや用いて、Excelを使った業務の自動化する基礎的な知識や技法や、データベースソフトの基本的な操作や活用方法について学ぶ。
5 ビジネス実務	オフィス実務に関する知識や技術と、ビジネスにおけるコミュニケーションについて学ぶ。
6 マーケティング	ビジネスにおいて欠かすことのできない顧客ニーズの把握に向け、市場調査や販売計画、さらには販売促進における広告活動などについて学ぶ。
7 ビジネス経済	ビジネスに必要な経済に関する基礎的な知識を習得し、経済の仕組みや概念について学ぶ。
8 電子商取引	情報通信ネットワークを活用した商取引の意義を理解し、それを行うための知識と技術を学ぶ。また、利用者の立場に立ったシステムを構築するため、コンピュータを効果的に活用する能力と態度についても学ぶ。
9 広告と販売促進	広告や販売促進などに関する知識と技術を習得させ、企業と消費者間のコミュニケーション活動の意義や役割について学ぶ。
10 経済活動と法	経済社会においてビジネスに必要な法規に関する基礎的・基本的知識を学ぶ。
11 課題研究	専門的な知識と技術の深化に取り組み、問題解決能力や創造性などを身に付ける。
12 商品開発	商品開発に関する知識と技術を習得し、商品の企画・開発を行う。
13 総合実践	いろいろな科目で学習してきた商業活動に必要な知識と技術を、一連の業務の中で体験的・一体的に学習する。また実務におけるコンピュータを利用した会計処理についても学ぶ。

Ⅲ 総合ビジネス系列(情報ビジネス系)

科 目	科 目 の 学 習 内 容
1 簿記	複式簿記の構造について理解させ、企業において日常発生する取引について適正な会計処理の方法を学ぶ。
2 ビジネス基礎	ビジネスに関する基礎的な知識と技術を学び、卒業後の進路について意識を深める。
3 原価計算	製造業における原価計算及び会計処理に関する知識と技術を習得する。
4 ビジネス情報	ExcelのVBAとマクロや用いて、Excelを使った業務の自動化する基礎的な知識や技法や、データベースソフトの基本的な操作や活用方法について学ぶ。
5 情報処理	コンピュータの活用に向け、表計算ソフトやデータベースソフト、さらには情報通信ネットワークなどについて学ぶ。
6 マーケティング	ビジネスにおいて欠かすことのできない顧客ニーズの把握に向け、市場調査や販売計画、さらには販売促進における広告活動などについて学ぶ。
7 ビジネス経済	ビジネスに必要な経済に関する基礎的な知識を習得し、経済の仕組みや概念について学ぶ。
8 プログラミング	基礎的なアルゴリズム、流れ図の作成、実際にプログラム言語を用いたプログラムの作成の手順やその構造について学ぶ。
9 電子商取引	情報通信ネットワークを活用した商取引の意義を理解し、それを行うための知識と技術を学ぶ。また、利用者の立場に立ったシステムを構築するため、コンピュータを効果的に活用する能力と態度についても学ぶ。
10 ビジネス情報管理	企業内の情報通信ネットワークを構築して円滑に運用する知識と技術を学ぶ。また、販売情報システムや財務情報システムを開発する知識と技術を学ぶ。
11 課題研究	専門的な知識と技術の深化に取り組み、問題解決能力や創造性などを身に付ける。
12 商品開発	商品開発に関する知識と技術を習得し、商品の企画・開発を行う。
13 総合実践	いろいろな科目で学習してきた商業活動に必要な知識と技術を、一連の業務の中で体験的・一体的に学習する。また実務におけるコンピュータを利用した会計処理についても学ぶ。

IV 電気情報系列【弱電コース】

科 目	科 目 の 学 習 内 容
1 課題研究	マイコン制御により動作する工作物の製作課題作品の製作, ロボットコンテストに参加するための電子工作関係課題作品の製作, ソーラーカーの製作, USBパソコン周辺機器の製作課題作品の製作, 他。以上を選択し学習する。
2 実習	プログラミング, 論理回路の基礎実習, 直流回路やIC回路の基礎実習, データベースの基礎と応用の学習および電子工作製作の実習をする。
3 製図	電気製図に関する基礎と, 電子回路を描く製図を習得する。
4 電気基礎	電気に関する基礎的な知識と技術の習得をする。
5 通信技術	ADSL, 光通信, 地デジ放送など情報通信に関する基礎的な知識と技術の習得をする。
6 電子回路	トランジスタなど電子回路素子の基本的な機能と特徴および回路の動作原理を理解し, 回路設計を習得する。
7 電子情報技術	情報技術の活用の基礎を習得する。
8 プログラミング技術(2年選択)	C言語を用いたプログラミングの基礎から応用について学習する。
9 コンピュータシステム技術(3年選択)	画像・音声等をコンピュータで処理する応用技術の習得をする。
10 ハードウェア技術(3年選択)	コンピュータの仕組みに関する基礎的な知識と技術の習得をする。

V 電気情報系列【強電コース】

科 目	科 目 の 学 習 内 容
1 課題研究	マイコン制御により動作する工作物の製作課題作品の製作, ロボットコンテストに参加するための電子工作関係課題作品の製作, ソーラーカーの製作, USBパソコン周辺機器の製作課題作品の製作, 他。以上を選択し学習する。
2 実習	プログラミング, 論理回路の基礎実習, 直流回路やIC回路の基礎実習, データベースの基礎と応用の学習および電子工作製作の実習をする。
3 製図	電気製図に関する基礎と, 電子回路を描く製図を習得する。
4 電気基礎	電気に関する基礎的な知識と技術の習得をする。
5 通信技術	ADSL, 光通信, 地デジ放送など情報通信に関する基礎的な知識と技術の習得をする。
6 電子回路	トランジスタなど電子回路素子の基本的な機能と特徴および回路の動作原理を理解し, 回路設計を習得する。
7 電子情報技術	情報技術の活用の基礎を習得する。
8 電気機器(2年選択)	直流機・交流機の原理と構造に関する基礎知識を習得する。
9 電力技術(3年選択)	電気エネルギーの発生方式と送配電技術, また電気応用に関する基礎知識を習得する。

VI 機械テクノロジー系列

科 目	科 目 の 学 習 内 容
1 実 習	金属加工の「基礎技術」・「測定技術」をものづくりをとおして習得する。
2 製 図	機械図面の書き方・読み方の基礎技術を習得する。
3 機 械 工 作	機械の工作法・加工法に関する基礎知識を習得する。
4 機 械 設 計	機械の設計に関する基礎知識を習得する。
5 原動機	原動機の構造・機能に関する知識・技術を習得する。
6 自 動 車 整 備	自動車の整備に関する基礎技術・知識を習得する。
8 生産システム技術	生産のシステムに関わる自動制御・生産管理の基礎を習得する。
9 課題研究	各自が選択したテーマについて2年次までに学習した基礎知識・技能を生かして研究開発し表現力を習得する。

VII 建築デザイン系列

科 目	科 目 の 学 習 内 容
1 製図	各種図面及びレタリングを行い, 空間認識と描画手法を学ぶ。
2 工業技術基礎	素材や色彩, 造形活動を行い, 建築及びデザインに関する基礎的修養を行う。
3 実習	木材加工, 企画設計に取り組み, ものづくりやプランニングの進め方を学ぶ。
4 建築構造	建築物を構成する要素とその組み合わせについて学ぶ。
5 建築構造設計	構造物に働く力と, 力の釣合い・部材の変形について学ぶ。
6 建築計画	人間と環境, 建築の歴史, 各種建築空間を設計する上で基本的な考え方を学ぶ。
7 課題研究	実作系(大工技能検定等)と企画設計系(設計競技等)に分かれて, 問題発見・課題解決能力を養う。
8 建築施工	建築物を完成させるために必要となる工程を知り, 現場管理のための基礎的知識を学ぶ。
9 建築法規	建築物及び都市の安全・快適性・公共性を担保するために必要となるルールを学ぶ。
10 デザイン技術	デザインに関する基礎的な知識を学習などのデザイン活動に, 応用できる理論や技法を学ぶ。
11 インテリア計画	インテリアにおいて, 形態・色彩・テクスチャー・空間などの造形要素が人間の心理にどのように働きかけているかを学ぶ。
12 インテリア装備	インテリア計画に基づいてインテリアを具体的に構築する際の基本的で重要な「もの」や「こと」の技術を学ぶ。